

平成 24 年度 第 2 回学校協議会 議事録

日時 . . . 平成 25 年 2 月 25 日 (月)

時間 . . . 午後 4 時 00 分～午後 6 時 00 分

場所 . . . ウィステリアホール

出席者 . . . 出相・松田・片岡・長田・小嶋・藤森・森・田原・中村・進藤・井福

欠席者 . . . 井上・畝中・寺東 (敬称略・順不同)

1. 准校長挨拶 (小嶋准校長)
2. 会長挨拶 (出相会長)
3. 協議

①学校教育自己診断について (田原)

資料説明、回答数などの説明

数年ぶりに実施した保護者用アンケートでは、今年度から回収率を高くするために着払いで返信用封筒を使い回収に努めた。今年度土曜参観や懇談を実施したことによって、学校行事への出席率は、数字的には少ないながらも増加したのではないかと分析。

生徒用アンケートにおいては比較的生徒の出席率が高い時に実施しており、回答数が例年より多かった。休んでいる生徒がどう考えているのかを知る必要もある。

最後に、教職員アンケートでは教育相談体制の整備が最も肯定的回答が低く、生徒のアンケートでもその傾向があり、相談体制の整備が課題であることがあげられた。

上級生になれば、相談する教師や相手を見つけるようになるが、下級生はまだそれが難しく相談できる先生が少ない。学年によって差が出た。

(委員より)

教師が実際に生徒と関わっていく中で、生徒に何が必要かをくみ取ることが出来ており、生徒にも伝わっているのではないかという言葉も頂いた。

②授業アンケート (井福)

資料説明、アンケート集計結果の説明

(藤森教頭)

本校では分かる授業、よりよい授業を目標にしているため、パッケージ研修なども行っている。学校教育自己診断の結果と同様、アンケートを受けていない生徒の考えを知る必要がある。

(委員より)

2年生の時が一番やめたくなる。一年間頑張ってみて進級はできたがやれやれの気持ちが出てくる。これからまた2年間やらなあかんのかとおもう。マイナス傾向があることも含めてどう思っているかを聞いてみたい。自分たち仲間同士でどんな話し合いをしているのか、先生とどんな話し合いをしているのが大切になってくる。学校に来たいと思っても仕事の関係で来られなくなることもある。仲間との背中押し合いがあったから卒業できた。卒業生として応援している！！

③平成 24 年度学校経営計画及び学校評価についての説明（小嶋准校長）

学校教育自己診断の分析・本年度の取り組み内容及び自己評価の説明

④生徒との懇談

生徒会役員 5 名が 17 時から出席

（出席生徒から出た意見）

- ・授業中のメリハリを教師に求めている。先生が関係のない話を長々として、授業がだらだらしていることもしばしばあった。先生によってはきちんとしている。
- ・携帯を触っている生徒にもきちんとしてほしい。
- ・授業中にノートなど写さずテスト前になったら泣きつく友達もいて嫌になることがある。テストだけ頑張るのもどうかと思う。
- ・たばこを吸いに校外に出る生徒が多い。秋から生徒会で校外清掃に取り組んでいるが、吸殻や食べ散らかしが多く、掃除していてゴミの量に驚いている。4階の非常階段やトイレで吸っている生徒もたまに見かける。先生もあきらめないでほしい。
- ・この学校はいじめもなく、先生もフレンドリーだ。この学校にずっといたい。相談したら的確な返事も返ってくる。

（委員からでた意見）

- ・教師が、生徒の逃げ場を作らず押し続けているとつぶれてしまう子もいる。先生はうまく使い分けているのではないだろうか。生徒と教師が同じ思いを持っているからいい学校を作れる。
- ・生徒同士で、注意し合うことも必要なのでは？

などの意見があった。

⑤茨木市連合会報についての説明（委員より）

北摂つばさ高校の生徒が中心となり東日本大震災復興支援援助をやってきて、その輪が茨木市内の公立高校に広がってきている。春日丘高校定時制も違う形で行っているということだが、ぜひ参考にしてほしい。

⑥平成 25 年度学校経営計画及び学校評価について

（委員より）

生徒がわからん、できへん、おもんない！！という授業の逆をすればいいのではないか。

1 時間のねらいを明確にして授業に臨んでほしい。

（准校長）

来年度からは、各先生の生徒による授業アンケートも学校協議会の資料の一つとしてお示しさせていただくこととなる。1 時間の中で、「わかるという実感」「できるという体験」「面白いという感動」の内一つでも生徒が感じるができる授業を目指していきたい。

⑦その他

平成 25 年度は、学校協議会を年間 3 回実施します。